

令和8年国立市消防出初式が開催されました

令和8年1月11日(日)に、谷保第三公園において国立市消防出初式が開催されました。当日は新春に相応しい晴天に恵まれ、消防団員のほか、市内各町会・自治会の防災部、自主防災組織の方々などが参加され、盛大に式が執り行われました。



出初式とは？

出初式（でぞめしき）とは、毎年お正月（主に1月）に行われる、消防団や消防署による年頭の恒例行事です。

出初式の目的

- ・ 新年の無火災・無災害を祈願
- ・ 地域住民への防火・防災意識の啓発
- ・ 消防団員の士気向上
- ・ 日頃の訓練成果の披露



出初式 CONTENTS



入場行進

消防団員の他、町内会・自治会の防災部、自主防災組織の方々が行進を行いました。指揮車やポンプ車といった消防車両も会場内を走行しました。



消防はしご車演技

立川消防署谷保出張所のはしご車が駆けつけ、くす玉割りの演技を行いました。くす玉からはカラーボールが落ち、子供たちが楽しそうに拾って持ち帰りました。

■ ■ ■ 谷保出張所のはしご車 ■ ■ ■

正式名称は「塔体付きポンプ車」といい、はしご車とポンプ車の性能を兼ね備えています。塔体を13メートルほど伸ばすことで、高所での救助活動でも活躍できる車両です。



一斉放水

副団長の指揮の下、各分団の消防ポンプ車や自主防災組織の可搬式ポンプから一斉に放水が行われ、綺麗な虹の橋が掛かりました。



寒の神どんど焼きに参加しました

「どんど焼き」とは、その年の無病息災や天候を祈念する伝統行事です。1月12日(月)、四軒在家公園にて行われたどんど焼きには第2分団が参加するなど、各地域の担当分団が、市内各地域のどんど焼きに参加しました。

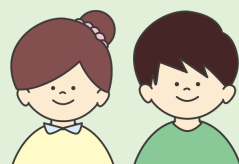


燃えている炭をかき混ぜる作業は、防火衣を着ていてもとても熱く、真冬でも汗を大量にかく大変な作業です。

最近、乾燥注意報の発令が多く、山林・林野火災などが頻発している中での開催であり、厳戒態勢で防火・消火活動に務めました。



Q. 消防団は、
どんど焼きに出動して
何をするの？



A. 以下のような消火・防火活動を行っています。

- 近隣の枯れ草や枯れ木などに放水して着火を防ぎます
- 燃えた櫓全体に火が回るようにかき混ぜます
- 火のついた灰などの飛散を放水で抑制します
- しっかり温度が下がるまで消火活動を行います



防災 三二講座

自宅での 着衣着火 を防ごう！

着衣着火とは、身につけている衣服に火が燃え移る事です。一瞬で燃え広がり、重い火傷や死亡に至ることがあります。

調理中のコンロやロウソク、ライターなど、ご自宅で火気を取り扱う際には、着ている服にも注意しましょう！



着火しやすい衣服

■素材

綿（コットン）、レーヨン、麻（リネン）、冬の衣服（起毛素材、フリース等）など

■形状

袖口が大きく広がったもの、ゆったりした服、裾が広がったデザインなど

分団スナップ

各分団の活動を、リレー形式でご紹介します！

第1分団



昨年の12月29日・30日は歳末特別警戒。ポンプ車で市内を回り、火災予防を呼び掛けました。

第4分団



第七小学校で行われた、地域防災訓練に参加しました。子供たちに、水消火器を使った初期消火を体験してもらいました。

火災出動件数

(令和7年12月～令和8年2月) (うち誤報5件)

10件

火災ゼロの国立市を目指しましょう



今後の活動予定 (令和8年度 春期)

4月 規律訓練

発行: 国立市消防団 広報委員会

広報誌バックナンバー

消防団広報誌は、火災予防だけでなく、地域での活動など、身近な消防団の活動をご紹介します。

市のホームページにバックナンバーが載っていますので、ぜひご覧ください。



国立市消防団広報誌

検索